

平成26年

4月号

〔592号〕



広報

かねやま

今月の主な内容

平成26年度当初予算……………	2
少子化対策……………	4
平成26年度主要施策の概要……………	6
話題の散歩道……………	8
お知らせ……………	10
図書室だより……………	17
生涯学習だより……………	18



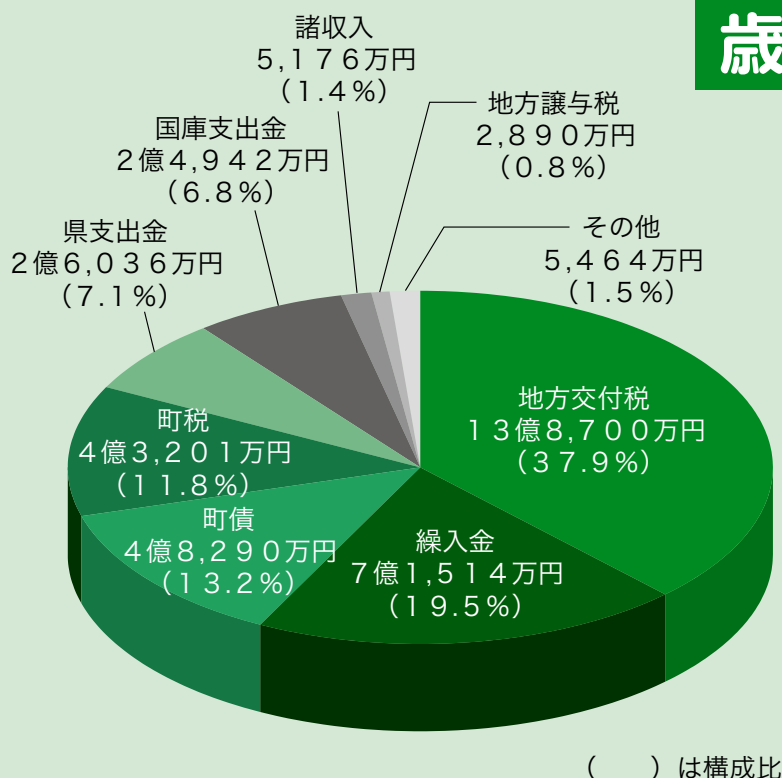
町公式キャラクター
かぼまる

思い出いっぱいの保育所に別れ
(記事8ページ)

36億6,213万円

平成26年度予算決まる

歳入



その他には地方消費税交付金、分担金及び負担金、自動車取得税交付金、寄付金、繰越金、使用料及び手数料、財産収入、各種交付金があります。

平成26年度の当初予算が決まりました。今年度は少子化・定住対策、町営住宅建設事業等による普通建設事業費の増額により前年度を上回る大型予算となりました。

歳入用語の説明

- 地方交付税……………国から一定の行政水準を確保するために、地方に交付されるお金
- 繰入金……………主に積立金（基金）を取崩し一般会計に繰り入れるお金
- 町債……………特定の目的のために、町が国や金融機関から借り入れるお金
- 町税……………町民の皆さんや企業が町に収める税金
- 国庫・県支出金……………特定の目的のために、国・県から交付されるお金
- 地方譲与税……………国税として徴収した自動車重量税や地方揮発油譲与税などの一部から町へ配分されるお金

歳出用語の説明

- 総務費……………町政全般の管理費等に使われるお金
- 土木費……………町道などの整備や管理に使われるお金
- 民生費……………高齢者・障がい者・児童などの福祉に使われるお金
- 教育費……………義務教育や生涯学習などに使われるお金
- 公債費……………町債（町の借入金）の返済にあてるお金
- 農林水産業費……………農林水産業の振興などに使われるお金
- 商工費……………観光・商工業の振興に使われるお金
- 衛生費……………住民健診や予防接種、ごみ処理などに使われるお金
- 消防費……………消防、水防、災害対策に使われるお金
- 議会費……………議員の報酬や議会の運営に使われるお金

歳入の特徴

平成26年度一般会計当初予算は、総額36億6,213万円となり、前年度と比較して1億1,695万円の増額となりました。増額の

主な要因は、町営住宅建設事業や開発センター耐震補強大規模改修工事などの普通建設事業費の増加、少子化定住対策に相当の予算を確保したことなどによるものです。

一般会計予算

歳出の特徴

投資的事業は、前年度比8億3,534万円増額の総額12億7,777万円を計上しています。

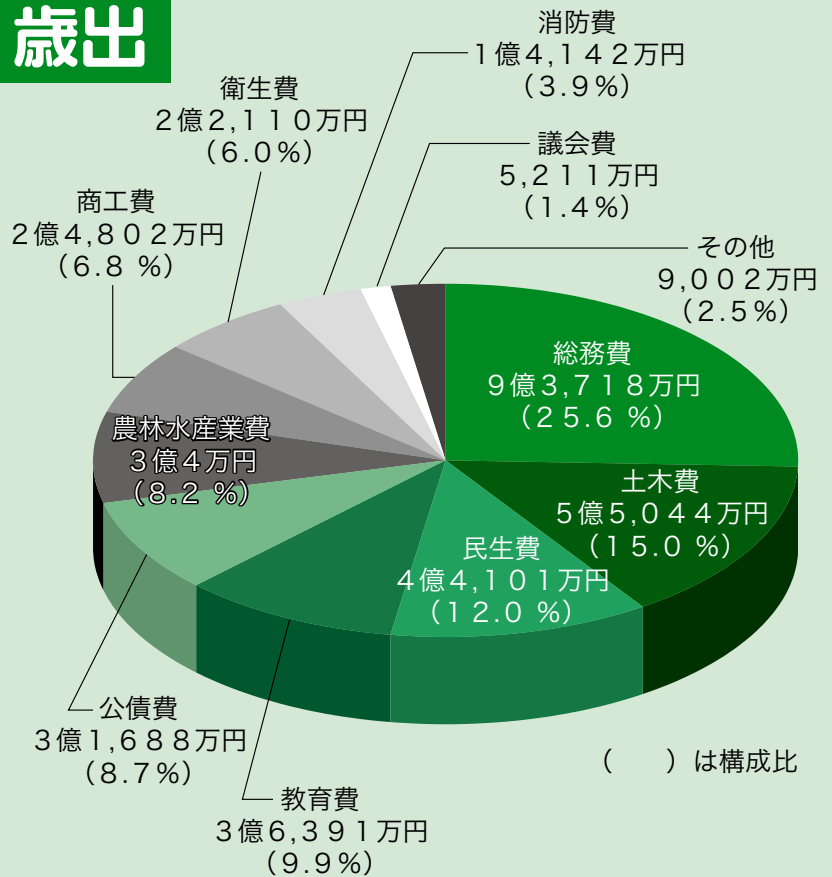
今年度実施する主な事業は次のとおりです。

- ・町営住宅建設事業 2億4,500万円
- ・開発センター耐震補強大規模改修工事 5,130万円

- ・老人福祉センター改修工事 2億635万円
- ・地区温泉活性化事業 6,294万円
- ・川口高校学生寮のリース料 6,000万円
- ・保養センターの取壊しと改築の設計に要する事業費 5,130万円

また、投資的事業以外の主な事業について少子化・定住対策のための予算として約1億8,700万円を確保しました。その内容としては従来からの川口高校桐径会補助金等のほか、無料化とした保育料等の歳入分、川口高校学生寮の運営に要する費用、小・中学校の給食無料化にともなう賄材料代などです。

歳出



その他には労働費、災害復旧費、予備費があります。

特別会計

国民健康保険事業（医療費など）

今年度は国保基金から財源補てん的な繰入れをして運営しますが、保険給付費が引き続き増加傾向にあり、財政状況は厳しい状況です。

国民健康保険事業（診療所の運営）
診療体制を維持するため、

宮下病院及び会津医療センターからの派遣医師業務委託料を増額しています。

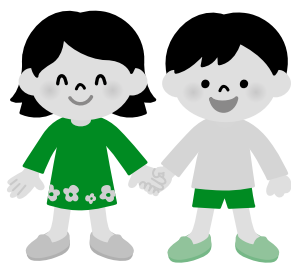
介護保険特別会計

一般管理費の減少のほか、居宅介護サービス給付費の減少を見込み減額しています。

簡易水道事業

川口統合簡水の整備事業、土倉、橋立、沼沢の各地区で老朽管の布設替工事を実施するため増額しています。

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険事業勘定 ※医療費など	3億9,867万円	309万円増
国民健康保険施設勘定 ※診療所の運営	1億2,766万円	575万円減
介護保険	4億9,955万円	598万円減
後期高齢者医療	4,765万円	115万円増
簡易水道事業	2億7,309万円	2,740万円増
特定地域生活排水処理事業	1億2,199万円	1,974万円増
特定環境保全公共下水道事業	2,426万円	308万円増
農業集落排水事業	381万円	11万円増
町営バス事業	1,715万円	8万円減



充実させます 少子化対策

町は、安心して子どもを産み育てることができ、子どもが健やかに成長できる社会の実現に向けて全力で取り組んでいきます。

12月定例議会では、金山町少子化対策推進条例が可決され、3月定例議会では、金山町少子化対策推進条例に基づき、数々の少子化対策に関する事業が盛り込まれた平成26年度当初予算が可決されました。

金山町少子化対策推進条例（抜粋）

（目的）

第1条 この条例は、少子化対策を総合的かつ計画的に推進するため、少子化対策の推進に関し基本的理念を定め、町の施策の基本となる事項を定めることにより、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備し、もって未来に夢や希望が持てる金山町の実現に資することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において「少子化対策」とは、安心して子どもを産み育てることができ、子どもが健やかに成長できる社会の実現に向けて行うすべての取り組みをいう。

（基本理念）

第3条 少子化対策の推進は、次に掲げる事項を基本理念として行わなければならない。

- (1) 子どもたちが次代の社会を担うという認識のもとに、家庭、学校、地域社会、行政機関等が、相互の連携の下、社会全体で取り組むこと。
- (2) 金山町に移り住み、金山町で子育てをする者への支援に向けて取り組むこと。
- (3) 保健、医療、福祉、労働、教育その他子どもに関するあらゆる分野において、総合的に取り組むこと。
- (4) 結婚、出産及び子育てに関する個人の考え方が十分尊重されるよう配慮すること。
- (5) すべての子どもが健やかに育つことができるよう配慮すること。

（町の責務）

第4条 町は、前条に定める基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、少子化対策に関する施策を定め、総合的に実施する責務を有するものとする。

（町民の責務）

第5条 町民は、子どもや子育て環境に思いやりを持って、家庭、学校、職場、地域などにおいて子育て・少子化対策に関する施策に協力するよう努めなければならない。

（推進体制の整備）

第6条 町は、町民が少子化対策の重要性に関する理解を深めるとともに、町民が安心して結婚し、家庭を築き、子どもを産み育てることができるようにするため、町民と一体となった推進体制を整備するものとする。

●●● 少子化対策重点事業 ●●●

～子どもたちの教育のために～

教育内容を充実させ“ふるさと教育”に力を入れます。

義務教育関係

- ・小中学校の給食を無料にします。(新規)
- ・入学時の運動着や制服・教材などの保護者負担を軽減します。(新規)
- ・修学旅行や部活動等の支援を行います。(新規)

高等学校教育

- ・川口高等学校「若桐寮」の運営を開始します。(新規)
- ・「若桐寮」の周辺工事などを行い寮環境の充実を図ります。(新規)
- ・桐径会への支援を行います。(継続)

社会教育

- ・放課後子ども教室やスポーツ少年団活動を支援します。(継続)

◎問い合わせ…教育委員会 ☎ 54-5360



開所した若桐寮

～子どもたちの福祉のために～

- ・保育料を無料化します。(新規)
- ・保育時間を延長します。(充実)
- ・妊婦健診や乳幼児健診を充実させます。(充実)
- ・医療費やインフルエンザ予防接種の無料化を継続します。(継続)

◎問い合わせ

保健福祉係 ☎ 54-5135 (医療に関すること)

川口保育所 ☎ 54-2822 (保育に関すること)

横田保育所 ☎ 56-4140 (〃)



川口・横田保育所合同遊び

～若者や子育て世帯の生活環境のために～

- ・若者が集う場を作り出し結婚対策につなげます。(新規)
- ・遠距離通勤をしながら金山で暮らす若者や子育て世帯を応援します。(新規)
- ・町内の賃貸住宅で暮らす若者や子育て世帯の生活を応援します。(新規)
- ・空き家や住宅を改修し金山で定住する人を応援します。(新規)
- ・結婚時祝金と出産時の祝金の年齢制限がなくなります。(充実)
- ・町営住宅の整備を行います。(継続)

◎問い合わせ…復興政策係 ☎ 54-5203 (定住等に関すること)
建設係 ☎ 54-5311 (住宅に関すること)



中川地区に建築された町営住宅

を遂げるために



昨年の11月2日に供用開始となった国道252号二本木橋

新潟・福島豪雨災害から2年半が経ち、町は今後も多様な事業による町づくりを推進します。平成26年度の主な業務内容についてお知らせします。

総合的な復興対策を進める

新潟・福島豪雨災害から2年半を経過し、公共施設の復旧は概ね終了しました。補完工事や、一部住宅再建が残されていますが、今年度中には再建されるよう取り組んでいきます。今後は、真の安全・安心を得るために、福島県が策定中の只見川圏域河川整備計画に流域住民の要望が充分取り入れられるよう、福島県並びに電気事業者に対し要請していきます。

豪雨災害から力強い復興を遂げるために、大型の投資的事業のほか、復興計画に基づく各種事業、地域に密着した小規模事業、その他のソフト事業も含め、多様な事業により多方面から総合的な復興対策を進めていきます。

JR只見線

JR只見線の復旧再開については、全く見通しが立っておりませんが、福島県、福島県JR只見線復興推進会議とともに復旧に向けて基金の造成を行い、只見線の活用を促進、特に代行バス区間を含めた利活用に取り組みます。

また、福島県選出国会議員の方々が只見線復旧に対し財政的支援ができるよう立法手続きに取り組むなど、大きな動きがあり、復旧再開に向けて全力を尽くします。



有効に利用したいJR代行バス

豪雨災害からの 力強い復興

産業振興

産業の振興は人口問題に直結するものであり、町が目指すべきは一次産業を土台とした産業の六次化の推進です。現在、一部の事業について展開を開始していますが、今後の一次産業の振興、充実をどのように進めるべきか、協議をしています。

教育

県立川口高校の入学生徒確保については、関係者並



生産者の関心を集めるフリーズドライ機

びに議員各位のご支援により、来年度についても2学級を確保できる見通しとなりました。鋭意取り組んできた学生寮の建設も完成し、今後は運営管理に万全を尽くし、安心して勉学に励むことができる環境整備と学習支援を継続して行きます。

教育の基本は「心豊かな人間創り」です。0歳児から高校教育まで、義務教育の枠を超え、地域一体型ふるさと教育として取り組みます。

健康と福祉

まずは、一人でも多くの方に各種健診を受診していただき、疾病の早期発見、早期治療を可能とし、町民一人ひとりが健康で過ごせるよう努めていきます。除雪対策は、これまで実施してきた高齢者排除雪事業を、全世帯を対象とした新たな排除雪設備補助事業として再編します。また、高齢者共同住宅の在り方を具体化するための検討を引き続き行っていく予定です。



必ず受けたい住民健診



地域の要となる川口高等学校

15名が学舎を巣立つ 金山中学校で卒業証書授与式



あたたかい拍手で見送られる卒業生

3月13日、金山中学校で卒業証書授与式が行われ、15名の生徒が慣れ親しんだ学舎を巣立ちました。式で佐浦雅明校長が「皆さんが入学した平成23年は

大きな災害が起きた年でした。それから3年が経ち立派に成長した皆さんは、まさに金山町の復興を象徴するものです」と式辞をのべました。

また、生徒代表の渡部大地君（横田）は学校生活を振り返り「言葉では表しきれないほどのたくさんの思い出があります。私たちを支えてくれた先生や多くの方々に感謝します」と答辞を述べました。



希望に向かって羽ばたけ 町内小学校で卒業証書授与式



晴れやかな卒業式となった金山小学校
感謝の気持ちを胸に9名が卒業（金山小学校）



お世話になった両親や恩師と記念撮影（横田小学校）

3月20日、町内の小学校で卒業証書授与式が行われ横田小学校では2名の児童が、慣れ親しんだ学舎を巣立ちました。篠崎俊樹校長は「卒業生の武満くんと大西さんは、これからも為せば成るという精神で頑張ってください」と式辞を述べました。

金山小学校でも9名の卒業生が思い出の詰まった学舎に別れを告げました。

4名の子どもたちが巣立つ 町内保育所で修了おいわいの会

町内保育所の修了おいわいの会は3月26日に開かれました。川口保育所で3名、横田保育所で1名の子どもたちに保育証書が渡されました。

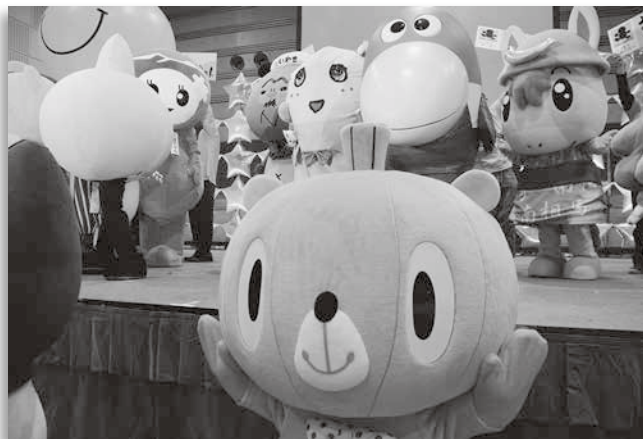


緊張した面持ちの坂内香音ちゃん(左)、
高橋千優ちゃん(中央)、船城敏照くん(右) (川口保育所)



保育証書を受ける古川徠詩ちゃん（横田保育所）

保育証書を受け取った子どもたちは保護者に歩み寄り「いつも面倒をみてくれてありがとう」などと感謝の気持ちを伝えました。



県内外の有名キャラクターと共演したかぼまる

ふくしま再興祭り ゆるキャラ®万博2014にかぼまるが参加

3月23日、ビックパレット福島（郡山市）で「福島ゆるキャラ®万博」が開催され、県内外からたくさんのゆるキャラ®が参加しました。全国的に旋風を巻き起こしている人気キャラふなっしーも登場し、イベントを盛り上げました。

町の公式キャラクターのかぼまるもイベントに参加し、人気の歌謡曲に合わせてダンスを披露しました。また、会場のロビーで来場者と交流し、その愛くるしい姿に子供たちから「かわいい」という声が上がりました。

奥会津の魅力を語る 御神楽館でシンポジウム

3月18日、御神楽館で椎名誠監督作「あひるのうたがきこえてくるよ。」の上映会と奥会津の魅力を語るシンポジウムが開催され、120名が来場しました。この催しは奥会津温泉郷協議会の主催で行われました。

シンポジウムでは映画に出演した女優の竹下景子さん、町内からは齋藤勇一さん（越川）、星賢孝さん（三更）、五ノ井優花さん（本名）らが映画撮影時のエピソードや奥会津の自然や人、風習に触れ只見線を含めた観光資源について語りました。



奥会津の魅力について語る竹下景子さん（左）



期待に胸をふくらませる新入児たち（横田保育所）

新しいお友だちができたよ 町内保育所で入所おめでとうの会

4月2日、横田保育所で新入児を迎える入所おめでとうの会が開催されました。先生から入所する4名の子どもの名前が呼ばれると、子どもたちは照れながらも大きな声で返事をしました。最後にはみんなで「ミックスジュース」を歌い親睦を深めました。横田保育所は、入所児童を含め13名でスタートしました。

また、川口保育所では1名が入所し、10名でのスタートとなりました。

待望の寮が完成 川口高校「若桐寮」が開所

川口高校の生徒数増加に伴い町が進めてきた川口高校の新寮「若桐寮」がこのたび完成しました。3月31日、町、川口高校、工事関係者らが参加し寮内で開所式が行われました。

式典で長谷川町長は「川口高校は多くの方々のご尽力により来年度も本校としての生徒数を確保できました。川口高校の存在は町の振興の柱です」と話しました。式の後、参加者らはもうじき生徒達が過ごす寮を見学しました。



式辞を述べる長谷川町長

お知らせ

今月の納税

- 固定資産税 1期・全期
- 軽自動車税 全期

納期限は
4月30日です

納め忘れに
ご注意ください

これから予定

案内

町税などの全納割引制度

固定資産税は、年4回に分けて納めることになっていきます。全ての納期分を第1期の納期限までに納めると年税額が割引になります。

年税額16,000円以上の方が対象で、今年度の第1期の納期限は4月30日です。

◎問い合わせ：住民税務係
☎54-5121

町県民税の引き上げ

平成26年度から10年間、町県民税均等割額が1,000円引き上げられ、現行の5,000円から6,000円になります。

引き上げられた1,000円（町民税500円、県民税500円）は「防災費用」に充てられます。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

◎問い合わせ：住民税務係
☎54-5121

田畑の賃借料

昨年1年間に、金山町で賃貸借契約が締結された田畑10アール（1反歩）当たりの賃借料の平均値は次のとおりです。

▼田（水稲）の部

・基盤整備区域 9,021円

・未整備区域 7,583円

▼畑の部

・基盤整備区域 3,000円

・未整備区域 なし

◎問い合わせ
金山町農業委員会
☎54-5321

耕作放棄地再生事業補助金

町は農業従事者の高齢化、担い手不足等により耕作放棄地となった農地の再生利用に取り組んだ農業者団体等に対して助成します。

▼耕作放棄地とは

2年以上作付けされず雑草や灌木が繁茂し、農業用機械では、耕起等農作物の作付けが困難な町内の田畑

▼農業者団体等とは

- ・農用地利用改善組合
- ・町内の法人格を有する団体
- ・町長が認める農業者団体

▼補助の条件

農業者団体等が500㎡以上の耕作放棄地等を再生し、当該耕地に再生後3年間、作付けを行った場合

▼補助の対象経費

耕作放棄地を再生するにあたり使用した重機等の借上料とし、補助額は農業者団体等が支出した額の全額とします。

◎問い合わせ：農林振興係
☎54-5321

有害鳥獣防護柵の設置には補助がでます

町は有害鳥獣による農作物の被害を防止、軽減する

ために防護柵を設置する世帯に対して助成します。

▼助成額

設置費用の2分の1（限度額1台あたり2万5千円）

▼交付申請

一世帯2台まで
※既に電気柵を設置し、助成金を受けている世帯でも新たに今年度設置される場合は申請することができます。また、火災や自然災害等により補助金を受けて設置した電気柵を喪失された方も再度申請することができます。

◎問い合わせ：農林振興係
☎54-5321



乾電池式の防護柵

★4月★

- ▼16日(水) 運転免許更新 午前9時～
- ▼17日(木) 開発センター からだ楽々教室 午前9時30分～
- ▼24日(水) からだ楽々教室 午前9時30分～
- ▼27日(日) 消防団春季検閲式 午前10時～
- ▼28日(月) 妖精美術館、沼沢湖周辺施設オープン 正午～

★5月★

- ▼2日(金) ハイハイクラブ 午前10時～ ゆつゆつ館
- ▼8日(木) 行政相談 午前10時～ 金山町役場

町水道メーター検針

5月1日から5日までの間に町水道メーターの検針を実施します。

検針員が各戸を訪問しますので、検針メータ上に雪がある場合は、お手数でも使用者が雪を取り除いてください。

また、雪解け後のこの時期は漏水が多く発生しているので自主点検しましょう。

注意

只見川・野尻川の雑魚漁は禁止です

只見川と野尻川の雑魚漁について、昨年の採捕自粛規制が継続中で、4月1日の解禁ができません。組合員や流域の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

◎問い合わせ

〈野尻川について〉

野尻川非出資漁業組合

組合長 坂内 由夫

☎5412123

〈只見川について〉

只見川漁業協同組合

金山支部
支部長 馬場 清次

☎5614252

沼沢湖のヒメマスは採らないでください

東京電力福島第一原発事故の影響で沼沢湖のヒメマスから100ベクレル/kgを超える放射性セシウムが検出されているため、4月1日からのヒメマス漁は昨年に引き続き見送られています。

◎問い合わせ

沼沢漁業協同組合

組合長 鈴木 茂

☎5513218

人事

消防団長

金山町消防団長に目黒政一さん（大塩）が再任され、4月1日に長谷川町長から辞令書が手渡されました。目黒さんの任期は平成26年4月1日から2年間で。

交通安全専門員



任命された目黒団長

金山町交通安全専門員に横田典良さん（横田）が再任されました。

横田さんの任期は平成26年4月1日から3年間で。



委嘱された横田さん

固定資産評価審査委員

3月24日付けで新國一男さん（西部）が退任し、後任として横田正男さん（上横田）が委嘱され、3月25日に町長から辞令が交付されました。

横田さんの任期は平成26年3月25日から3年間で。固定資産評価審査委員は、町とは独立した中立的・専門的な立場から、固定資産

台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定、その他の事務を行います。



委嘱された横田さん

沼沢公民館長

3月31日付けで沼沢公民館長の五ノ井齊さん（沼沢）が退任され、後任として五ノ井忠道さん（水沼）が就任されました。

五ノ井さんの任期は平成26年4月1日から1年間で。

平成26年度の新しい区長さんが決まりました

平成26年度の区長さんが次のとおり決まりました。1年間よろしくお願ひします。

（敬称略）

地区		氏名	
川口	栗城 篤義	沼沢	川邊 次郎
小栗山	五ノ井浩司	横田	雪下スミ子
八町	目黒 三雄	上横田	滝沢 清男
玉梨	栗城 澄雄	土倉	滝沢 正明
西谷	長谷川勝義	西部	奥 高伸
本名	菅家 哲夫	大塩	新國 政幸
橋立	長谷川重美	滝沢	渡部 慎
大志	中丸 謙公	田沢	横山 正幸
板下	山口 德行	山入一	須佐 昌樹
宮崎	目黒 謙	山入二	栗城 富二
上田	星 光雄	越川	横田 敏宏

町職員人事異動

次のとおり町職員の人事異動がありました。

()内は前任です。

【3月31日付】

★退職

長谷川一夫 (参事)

栗城耕作 (住民課長)

五ノ井忠道 (教育次長)

佐藤護

(出納室主任主査)

★派遣終了

情野貴之

(復興政策課長)

★異動

【4月1日付】

復興政策課長 天野淳

(福島県総務部)

市町村行政課



天野 淳

住民課長 渡部嘉宣

(会計管理者・出納室長)

建設課長 栗田哲也

(復興政策係長)

会計管理者・出納室長 渡邊新太郎

(議会事務局長)

議会事務局長 目黒隆明

(建設課長)

教育次長 渡部伸

(建設課建設係長)

復興政策課復興政策係長

押部邦昭

(産業課商工観光係)

建設課建設係長 佐々木

貴之

(建設課上下水道係長)

建設課上下水道係長 五

ノ井智徳 (建設課建設係)

教育委員会教育係長 滝

沢和俊 (保育所係長)

保育所係長 須佐光夫

(教育委員会教育係長)

総務課総務係 栗田由香

(住民課保健福祉係)

総務課総務係 坂内友洋

(住民課保健福祉係)

住民課住民税務係 栗城

亮 (総務課総務係)

住民課住民税務係・出納

室兼務 諏佐雅樹

(住民課住民税務係)

住民課保健福祉係・出納

室兼務 肥田野重人

(住民課保健福祉係)

住民課保健福祉係 若月

将平 (産業課農林振興係)

建設課建設係 渡部寛人

(住民課住民税務係)

産業課農林振興係 藤井

秀文 (住民課住民税務係)

産業課商工観光係 大竹

修一 (総務課総務係)

教育委員会教育係 加藤

拓 (総務課総務係)

川口保育所保育士 栗城

麻衣 (横田保育所保育士)

★新採用

総務課総務係



吉川 千春

住民課住民税務係



馬場 和也

住民課保健福祉係



緑川 茂一

募集

ふくしま駅伝出場選手

第26回市町村対抗福島県駅伝競走大会は、11月16日

(日)に白河市をスタート、福島市をゴールに開催されます。

町は今年も他町村との合同チーム「希望ふくしま」を結成し出場する予定です。

この「希望ふくしま」に町の代表選手として参加するランナーを募集しています。

参加をご希望の方は、教育委員会までお申し込みください。

◎問い合わせ：教育委員会

☎ 54-15360



「希望ふくしま」の選手達(第25回大会)

市町村対抗野球に参加しませんか

今年で8回目を迎える市町村対抗軟式野球大会の参加者を募集しています。

大会には町内在住者と町内中学校出身者(ふるさと選手)が参加できます。練

習のみの参加も可能ですので、一緒に白球を追いかけてみませんか。

◎問い合わせ

体育協会事務局

☎ 54-15361



昨年の大会に出場した金山チーム

ご寄付に感謝

ふるさと応援寄付金

● 東京都東村山市の君野麻子さんから5千円

● 大阪府大阪市の山岡謙吾さんから5千円

● 埼玉県春日部市の黒田祐弘さんから10万円

● 故・黒田藤吾さん(大塩)のご遺族、ご一同様から

百万円

● 匿名希望の方3名から

2万5千円

● 寄付は災害からの復

旧・復興事業などに活用さ

せていただきます。



みんなでJR只見線の早期復旧を応援しよう!!

奥会津五町村活性化協議会 JR只見線復興応援プロジェクト事業

奥会津五町村活性化協議会では、地域住民のみなさまにもご協力いただきながら、只見線応援と早期復旧の願いを届けるため、利用促進対策としての只見線乗車体験を企画しております。

今回は、春を満喫する「春爛漫 鶴ヶ城で大花見」コースを企画いたしました。お誘い合わせの上ご参加ください。

平成26年度 第1弾「春爛漫 鶴ヶ城で大花見!!」

〈日時〉平成26年4月24日(木)

〈参加資格〉どなたでも結構です。婦人会、老人会などの団体大歓迎。

〈集合〉最寄りの各駅に集合となります。下記時間に乗り遅れないようにお願いいたします。
なお、代行バスの停留所は鉄道駅の場所とは異なる場合がありますのでご注意ください。

〈定員〉先着40名となります。※応募人数によっては中止となる場合があります。

〈行程〉7:10 只見町……JR代行バス……8:00 会津川口 8:30==会津宮下 9:12
==会津柳津 9:35==10:34 会津若松駅 10:45……市内スーパー
……11:30 会津酒造歴史館 12:00……12:15 鶴ヶ城(お花見や昼食等自由行動)14:00
……14:30 飯盛山 15:30……16:00 七日町通り散策……16:45 七日町駅 16:59発
==会津柳津 17:56==会津宮下 18:20==18:47 会津川口 19:08……JR代行バス
……只見 19:58

※会津若松市内の移動は貸切バスを使用いたします。

行程内に昼食をを買う時間はありますが、お弁当を持参していただいても結構です。

〈参加料〉無料です。

※JR只見線乗車やバス代など移動にかかる運賃は協議会で負担します。
ただし、昼食代及び入場料等は個人負担分となります。

〈申込期限〉平成26年4月21日(月)※期間厳守

◎申込先 奥会津振興センター

☎0241-48-5525



春爛漫の鶴ヶ城



会津酒造歴史館

只見線への思いを執筆

作家の椎名 誠さんが奥会津と只見線への思いを綴ったエッセイと写真が掲載された「自遊人5月号」が発売中です。

只見線の車両内で行われた地元の方々との対談も掲載されています。



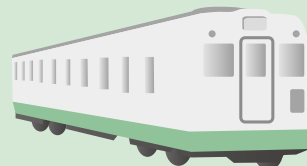
椎名さんの写真とエッセイを掲載

町民の皆さま、 JR代行バスを積極的に 利用しましょう!

只見線は大切な交通機関です。只見線復旧に向けて積極的に利用しましょう。

3月16日から只見線のダイヤが改正されています。今回の改正で、会津川口駅と只見駅間の代行バスが上下線合わせて3本増加しています。

お昼の会津若松駅の列車への接続など、大変便利になっていますので、皆さまご利用ください。



町内各地区の放射線量

町が独自に行っている、各地区の空間放射線量についてお知らせします。

測定は各集会所等周辺の土の上で行っています。冬期は雪による遮へい効果で値が低くなる傾向があります。

※測定結果は気象条件等により変動しますので、数値は目安としてご覧ください。

測定地点：各地区集会所

(単位：マイクロシーベルト／時間 地上1mの高さで測定)

地区名	測定日	1月24日	2月18日	3月28日	地区名	測定日	1月24日	2月18日	3月28日	地区名	測定日	1月24日	2月18日	3月28日
川口		0.052	0.050	0.064	上田		0.046	0.040	0.050	横田		0.080	0.060	0.092
小栗山		0.042	0.050	0.070	水沼		0.068	0.056	0.094	上横田		0.064	0.048	0.074
八町		0.048	0.052	0.074	上大牧		0.040	0.030	0.068	土倉		0.052	0.040	0.054
玉梨		0.054	0.058	0.052	下大牧		0.042	0.032	0.064	西部		0.040	0.050	0.076
西谷		0.058	0.044	0.072	高倉		0.044	0.030	0.046	大塩		0.060	0.054	0.052
本名		0.060	0.048	0.070	大栗山		0.052	0.048	0.046	滝沢		0.052	0.044	0.068
橋立		0.054	0.054	0.060	福沢		0.046	0.050	0.052	田沢		0.052	0.050	0.058
大志		0.060	0.060	0.080	三更		0.050	0.042	0.064	山入1		0.064	0.056	0.080
板下		0.050	0.028	0.050	沼沢		0.052	0.056	0.124	山入2		0.068	0.050	0.066
宮崎		0.054	0.062	0.064	太郎布		0.030	0.028	0.060	越川		0.084	0.044	0.064

自家消費食品等の放射性物質簡易測定の結果について

複数の検体を測定している場合は最低値と最高値を表示しています。

(測定年月日 平成26年3月1日～平成26年3月31日)

※「ND」は、10ベクレル/kg未満です。(単位：ベクレル/kg)

品名	測定件数	未検出数	セシウム (134+137合計値)	品名	検体数	未検出数	セシウム (134+137合計値)
地下水	3	3	ND	焼却灰	1	0	1,563

町では自家消費の食品等について放射線測定を役場と横田出張所で行っています。

測定を希望される方は、保健福祉係か、横田出張所へ事前予約が必要です。

測定には1検体につき40分以上かかります。

なお、販売用食品の測定については農林振興係にお問い合わせください。

◎問い合わせ…保健福祉係 ☎54-5135 (自家消費食品について)

横田出張所 ☎56-4111 (自家消費食品について)

農林振興係 ☎54-5321 (販売用食品について)

水道水の放射性物質 検査結果

町では定期的に町水道の放射性物質モニタリング検査をしています。

3月18日現在で町内水道水から放射性セシウムは検出されていません。

【参考】

国が定めた飲料水の基準値
放射性セシウム
10ベクレル／1kg

◎問い合わせ…上下水道係
☎54-5315

山菜類を販売される方へ

4月から山菜採りのシーズンに入ります。県では直売所などで山菜を販売する方を対象に放射性セシウムのモニタリング検査をします。**直売所等へ出荷される方は必ずモニタリング検査を受けてください。検査の受付は農林振興係で行っています。**

〈検査の流れ〉

- ① 検査対象の品は1.0kg以上用意してください。
- ② 測定を希望する生産者は毎週金曜日までに町に申し込んでください。
- ③ 栽培者に町が電話等で検査結果を連絡します。
(モニタリング検査結果は3日程度でお知らせします。)

◎問い合わせ…農林振興係 ☎54-5321

稲作・畑作の放射性セシウム吸収抑制対策

福島第一原子力発電所の事故により県内の土壌には広く放射性セシウムが付着しています。次の方法により、稲や野菜などに吸収される放射性セシウムを抑制する効果が期待されます。

① 水路や溝の清掃（落ち葉や泥の流入防止）

水路や溝に堆積している落ち葉や泥は、放射性セシウムが含まれている危険性があるので、水田への入水前に堀さらいや清掃を行うとともに、水口に網などを設置して、出来るだけ水田に落ち葉や泥が流入しないように注意してください。

② 中干しの徹底（中干し・溝切り・間断かん水）

中干しを行い、土壌を酸化状態にすることで放射性物質の吸収を抑制する効果が期待できます。

中干しの推奨期間は6月25日～7月10日です。

③ 適正穂肥（倒伏防止）

倒伏防止の観点から穂肥は慎重に行いましょう。幼穂形成期（出穂23日前後）に生育診断を行い、葉色が濃い場合や草丈が高い（80cm以上）場合は特に注意が必要です。

④ 適期刈取（倒伏・泥の混入防止）

倒伏や泥の混入を防止するため、雨天の刈取りを避け、適期刈取りに努めましょう。

⑤ 深耕

深耕ロータリや駆動式ディスク耕うん機を利用し、深く土壌を耕すことにより作る土層の放射性物質の濃度を低下させて、作物への吸収量を低減する効果が期待できます。

※放射性セシウムが検出されやすい場所として、以下があげられます。

- ①砂質土壌で腐植が少ない ②中干しができない湿田 ③作土層が浅い
- ④沢の水が直接流入する ⑤周囲に森林が隣接している

◎問い合わせ…会津坂下農業普及所金山普及所 ☎54-2801

塩化カリの無料配布

町内で生産される米から放射性セシウムが検出されないことを目標として、町・県・JA等各関係機関が一体となって水稻の放射性セシウム吸収抑制対策に取り組んでいます。

このため平成26年度もカリを無償配布しますので、町内すべての稲作農家の皆さんはカリ肥料の施肥を徹底していただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

配布資材……塩化カリ（20kg／袋）

施肥時期……基肥時（4月下旬から5月上旬頃）

施用量……20kg／10a

※施用についてわからない場合は金山普及所へお気軽にお問い合わせください。

◎問い合わせ…金山普及所 ☎54-2801
農林振興係 ☎54-5321



ふくしまプレDC開催中

デスティネーションキャンペーン(DC)は、地元観光関係者や自治体、JRグループ6社等が協力し行う国内最大級の観光キャンペーンです。

平成27年4月から6月のふくしまDC開催が決定し、平成26年4月から6月のプレDC、平成28年4月から6月のアフターDCを含め3年間のキャンペーンを、「福が満開、福のしま。」をキャッチコピーに展開します。

期間中、福島県内においては、町民の皆さまが楽しめるイベントも数多く開催されますのでどうぞお楽しみください。

◇おもてなし隊を募集

福島県ではふくしまDCと一緒に盛り上げる「福が満開 おもてなし隊」を募集しています。県内の団体・企業・学校やグループなど、どなたでも参加できます。

【福が満開おもてなし隊 活動例】

笑顔でお出迎え／お見送りをします
清掃活動で観光地をきれいに保ちます
道案内をします
郷土料理をご紹介します

詳細は「福が満開おもてなし隊」
公式ホームページをご覧ください。
<http://fuku-omotenashitai.jp/>

妖精の里商品券 発売中

金山町商工会では妖精の里商品券を販売しています。妖精の里商品券は金山町商工会及び町内の取扱店で販売しています。

○商品券の種類

額面500円券11枚綴りを5,000円で販売(5,000円で5,500円分の買い物が可能です)

○購入限度額

1人につき10万円
但し、1世帯最高30万円まで

○利用期間

平成26年4月1日から
平成26年9月30日まで

◎問い合わせ…金山町商工会
☎54-2311



みんなで介護予防！ かぼまる体操ができました♪

介護予防体操として、楽しい音楽に合わせた「かぼまる体操」ができました。体操の冊子をみなさまに配布します。

レンタル用CD、DVDは金山町役場住民課にあります。皆さまがお集まりになる機会にご活用ください。この際はぜひ保健師にも声をお掛けください。体操の指導にお伺いします。

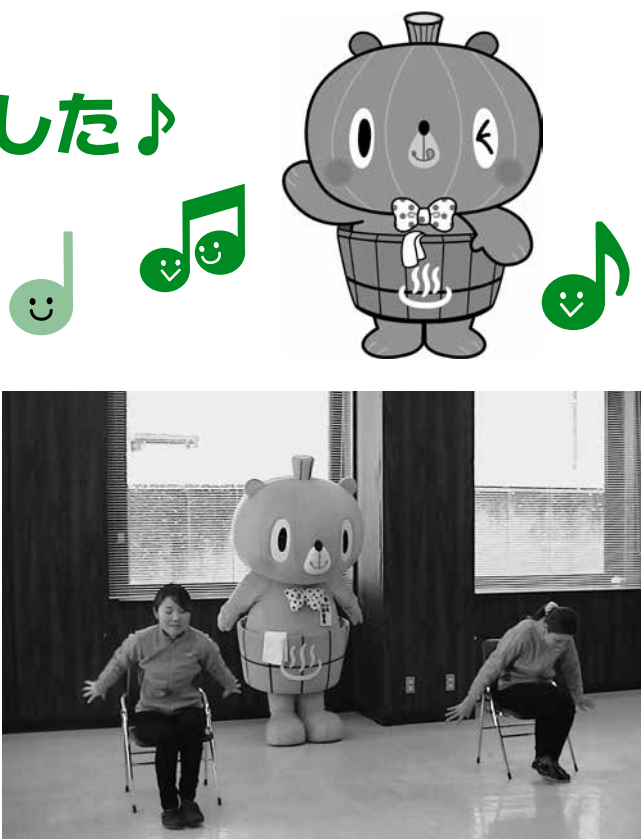
みんなで一緒に体操しましょう！

老人クラブで…

地区の集会の時に…

地区のカラオケの前

◎問い合わせ…保健福祉係
☎54-5135



元気にかぼまる体操！

☆新書紹介

一般書 「しのぶ梅 着物始末暦」／中島 要 著（角川春樹文庫）

着物の染み抜き、洗いや染めとなんでもこなす着物の始末屋・余一は、職人としての腕もよく、若くて男前なのだが、人と深く関わろうとしない。一方、余一の古馴染みで、柳原土手の古着屋・六助は、難ありの客ばかりを連れてくる。余一の腕を認めながら、敵対心を燃やす呉服太物問屋の若旦那・綾太郎。朴念仁の余一に片思いをしている一膳飯屋の看板娘・お糸など……。市井の人々が抱える悩みを着物にまつわる思いと共に、余一が綺麗に始末する!! 人情味溢れる筆致で描く、連作短編時代小説。

一般書 「春、戻る」／瀬尾 まいこ 著（集英社）

結婚を控えたある日、私の前に兄と名乗る青年が現れた。明らかに年下の「お兄さん」は、私の結婚にあれこれ口出しを始めて……。

人生で一番大切なことを教えてくれる、ハートフルウェディングコメディ。

児童書 「夜の小学校で」／岡田 淳 著（偕成社）

とうぶんのあいだ、ぼくは桜若葉小学校というところで、夜警のしごとをすることになった。その小学校の中庭には大きなクスノキがあった。学校の夜に起こる奇妙な出来事。

☆図書館にある本のご紹介 毎日のフラワーアレンジ／並木 容子 著（日本文芸社）
だいすき手作り うれしい日のプレゼント／尾崎 曜子 著（アリス館）
新聞エコバック／坂上 政子（小学館）

☆3月の公民館図書室利用状況 刊貸出冊数 60冊（うち児童書 13冊）

*お一人様3冊まで2週間借りられます。（土曜日利用可）

◎問い合わせ…中央公民館 ☎54-5333

あの人この人

3月届出（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

今月は該当がありませんでした。

お二人で幸せに

♥ { 渡 部 貴 裕（横 田）
栗 城 暢 子（昭和村）

♥ { 緑 川 茂 一（川 口）
武 地 葉 子（川 口）

霊よ安らかに

中 丸 ヤヨイ（98歳）大 志
五ノ井 功（73歳）小栗山
山 内 テ ツ（100歳）川 口
雪 下 俊 雄（86歳）西 谷

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口（4月1日現在）

世 帯 数	1,109世帯	(- 5)
人 口	2,324人	(- 8)
男	1,105人	(- 8)
女	1,219人	(± 0)

※()内は先月比 住民基本台帳から

地域おこし協力隊コラム vol.6

冬を乗り越えて

地域おこし協力隊 大澤 敦



私が金山町にお世話になって、もうすぐ一年が経過しようとしています。初めて迎えた金山の冬でしたが、みなさまの助言をいただきながら、どうにか乗り切ることができました。

私は(株)奥会津金山大自然を中心に活動していますが、冬の間は主に餅作りを教えていただきました。はじめて食した金山の餅のおいしさ……それは今まで自分が食べていた餅とは一体何だったのか？と衝撃を受けたほどでした。

また、各地区の祭事ですが、八町地区のサイノカミを拝見させていただき、自然への祈りを知るとともに、ウサギ猟にも同行させていただき、命の重みと感謝の気持ちを学ぶこともできました。

隊員としては、2年目に突入します。本年度も住民の方々にご指導いただきながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。





平成26年度県立宮下病院の診療体制について



県立宮下病院 院長 黒沢 正喜

地域の皆さまには、常日頃より当院をご利用いただいておりますとともに、多大なる御支援、御協力をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

平成26年4月1日付け人事異動では、柏木真人医員が転出、小山大輔医長、佐藤悠医員が転入となり、常勤医師が4人となりました。医師の確保に向けて、御尽力いただきました管内町村長を始め、宮下病院等後援会の皆様には大変お世話になりました。

昨年、休診となりました外科については、今年度も外科医師が不在となりますことから、引き続き休診とさせていただきますが、会津医療センターより多くの応援をいただき、充実した診療体制を整えることができました。(下記の表参照。)

また、皆様に御利用いただいております病院バスの運行経路を見直して、柳津町及び昭和村の中心部まで運行し、管内町村の全てをカバーすることとなりました。

本年度もへき地医療拠点病院として、地域医療を守るべく努力してまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願いいたします。

平成26年度診療体制

診療科	開設曜日	医師名
内科	月～金曜日 第2・4木曜日	院長 黒沢 正喜、科長 愛澤 正人、医長 小山 大輔、医員 佐藤 悠 (会津医療センター) 助手 長谷川 浩二
循環器内科	第2木曜日 第4火曜日	(会津医療センター) 講師 宗像 源之 (会津医療センター) 助手 星野 弘尊
整形外科	毎週水曜日※1	(会津医療センター) 准教授 岩渕 真澄、助手 田口 浩子、助手 利木 成広
心身医療・ 物忘れ外来※2	火曜日 火曜日 水曜日	(県立矢吹病院) 科長 金澤 壮一 (会津医療センター) 講師 久村 正樹 (会津医療センター) 助教 西郷 佳世
耳鼻咽喉科	隔週金曜日	(会津医療センター) 准教授 角田 保雄
皮膚科	隔週金曜日	(会津医療センター) 准教授 鈴木 重行

※1 第5水曜日は休診です。

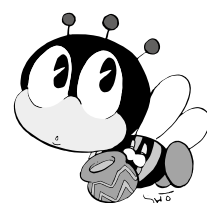
※2 「心身医療・物忘れ外来」については、火曜日または水曜日のどちらかで毎週開設しています。事前にお問い合わせください。

4月を迎え新年度がスタートしました。4月2日には町立の各保育所で入所式があり、平成26年度は川口保育所が10名、横田保育所が13名の大切な子供たちをお預かりすることとなりました。

町はこれまで川口高校の支援を行ってきましたが、平成26年度より地域一体型ふるさと教育推進事業を実施し、保育料の無料化、小中学校では給食費や教材費、入学準備品、修学旅行費を無料として子育て、就学のための支援を充実させました。

これらの支援には町の予算が使われていて、子どもを持つ保護者、そして子育てにかかわることのない町民にも将来の町づくりを見据えて税金が使われることについて理解が進むことを

支えあいの教育



生涯学習のマスコット
マナビくん



無料化となった保育所

期待します。

町は全国的に見ても超少子社会が進んでおり、この支援で子どもの減少に歯止めがかかることを期待してやみませんが、お金のことばかりでなく町全体で幼児から川高生までの成長を見守ることが大切です。町づくりのテーマ「支えあいの町かねやま」。子どもたちの18年間の学びを町民の皆さんで支えあいましょう。

